

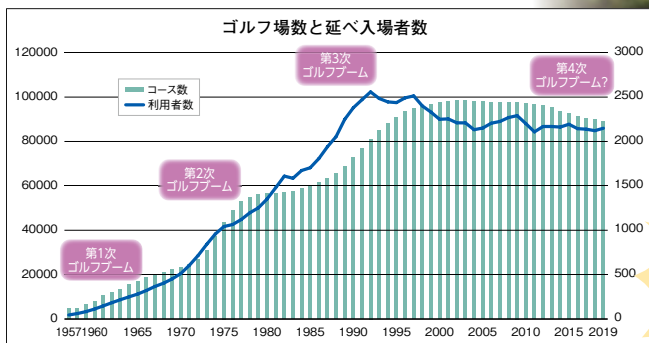
待望の男子メジャー 優勝者誕生

第4次ゴルフブーム 到来か!?



松山効果で
ゴルフ界へ追い風

練習場特需が
ゴルフ場に波及も



(出典:一般社団法人日本ゴルフ場経営者協会)

第85回マスターズ・トーナメント(米・ジョージア州オーガスタナショナルGC)で4月11日(日本時間12日)、日本の松山英樹プロが優勝し、日本男子で初の4大メジャー制覇、アジア男子で初のマスターズチャンプとなった。

日本のゴルフ界にとっては歴史的偉業であり、これを機に第4次ゴルフブームの到来を期待する報道も始まった。

ゴルフ界は東京五輪の金メダルも期待

ゴルフの祭典と言われるマスターズは、ゴルフアターの憧れであり、それを制した影響力は計り知れないほど大きく、国内マスコミばかりか、海外でも大きく報じられた。

松山プロは「僕が勝てたことで、これから日本の若い選手も変わっていくんじゃないか。これからも長く活躍できるよう頑張ります」とコメント、これで「日本人でも勝てる」と思った選手も出てくるだろうし、松山プロに憧れてゴルフを始める子供達や、ゴルフから離れていた人達、勿論、ゴルフを楽しんでいる人達にもゴルフへの関心が高まった。日本のゴルフ界に

とって、これ以上ないゴルフ振興効果をもたらす歴史的な快挙となった。

日本の早朝にテレビ放映があった12日には松山プロ出身の東北福祉大学でゴルフ部の阿部靖彦監督が会見、母校の明德義塾高校、出身地で父親がゴルフ練習場を営む愛媛県などにも取材が入り、各地で号外が出されるなどおそろくゴルフ界の報道としては過去最大級のスケールで、マスターズ優勝が伝わった。松山プロは10年前、東日本大震災が起きた翌月のマスターズでアジア初のローアマを獲得し、今年が20代最後で10回目の挑戦(うち予選落ちは2014年のみ)だった。

松山プロが今でも住民票を置く宮城県では県民栄誉賞を知事が検討とコメントした。菅義偉首相も当日祝辞を述べたが、その後、松山選手に「国民に勇気を与えた」として4月30日に総理大臣顕彰を授与した。

ゴルフ界からもJGAは前週のオーガスタナショナル女子アマチュアで優勝した梶谷翼選手に続き、オーガスタで2週連続日本人チャンプが誕生する「快挙」に竹田恆

帰国会見する松山英樹



正会長が祝辞を述べた他、東京オリンピックでのゴルフ競技での金メダルに期待を寄せた。JGTTO会長の青木功プロをはじめ、プロゴルフ界からの祝辞も相次いだ。

コロナ禍でゴルフは3密を避けられるスポーツとして注目され、若者を中心に参加者が増えていたところ。しかも2019年の渋野日向子プロの全英女子オープン初制覇もあり、この上ない展開で国

内ゴルフ業界が盛り上がりつつきた中で最高の朗報で、松山プロには「おめでとう」と「ありがとう」をSNSでつぶやく一般ゴルファーも多かった。

4月11日(日本時間12日)のマスターズ優勝の余韻も冷めない中、松山英樹プロが14日夕方、オンラインでの帰国会見を開いた。

松山プロは「1997年のタイガー・ウッズのプレーを見て、ゴルフアートを志した。僕がタイガーになりたいと思ったように子供たちに思ってもらえたら。ただ、これからも活躍しないとそう思ってもらえないので10年、15年と長く活躍していきたいと思いました」と話した。

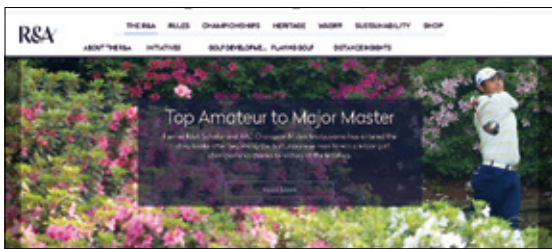
今回のマスターズに関しては「2011年の10年前にローアマチュアをとれて、10年後に表彰式に出られたのは、僕の中では特別の感情を抱いたという思いがあります」と話している。東日本大震災後に19歳で初挑戦したマスターズでローアマ獲得するなど、マスターズ、海外での実績を積み上げてきたので思うところもあっただろう。グリーンジャケットについては「持って歩きたい」と話して

いたので、今後松山プロの行く先々で話題となりそうだ。

また東京五輪については「無事に開催されるのであれば、頑張っていきたい」と話した。

松山プロのマスターズ制覇により、松山プロと用品契約する住友ゴム工業が発売しているマスターズの刻印が入ったゴルフボールが一時品切れになる売れ行き。またゴルフ量販店のアルペンが15%還元セールを始めた。中古ゴルフ用品販売店やゴルフ場でもダンロップ製品の10%還元セールなどを行うなど、波及効果は相当広がっている。

しかも、松山プロは他のメジャーでも上位の成績を収め、メジャーの複数制覇も現実味を帯びてきており、4大会のグランドスラ



R & Aも松山プロを特集

ム、東京五輪を含めたゴールデンスラムに期待する報道も出ている。

マスターズのホームページ

当面、国内のゴルフ業界には追い風が吹きそうだが、PGAツアーやR & Aも松山プロの特集を組むなどしており、アジア市場を見据え、日本のゴルフマーケットにも注目しているようだ。

また、マスターズの公式サイト(<https://www.masters.com/>)トップページを見ると「2021 MASTERS CHAMPION」の下に日本人向けかも知れないが「2021年マスターズチャンピオン」の日本語の文字が記され、松山プロが優勝した歴史的なウィークを映像で紹介。2011年に19歳でローアマを獲得した時の若き松山選手の映像、日本のTBSアナウンサーが優勝を伝えた音声と映像も加え3分ほどで紹介している。

ちなみにオーガスタナショナルGCを同サイトの資料も加え紹介すると、アマチュアで数々のトーナメントを制し球聖とよばれたロビー・ジョーンズと名設計家のアリスター・マッケンジーが造り上

げたコース
で、193
2年12月に
飯オーブン。
翌1月に正
式オーブン
している。

創設者は
ボビー・ジ
ヨーンズと
友人で実業
家のクリフ
オード・ロ
バーツ。両
者の企画に
より193



松山英樹の優勝を伝える
公式サイト

4年から“Augusta National Invitation
Tournament”としてトーナメント
が開始され、1939年から当初
ロバーツが考えていた現名称に変
更し、定着した。

このオーガスタの初期メンバー
にロバーツの友人の日本人がいて、
1934年の最初の大会には3名
の日本人を招待していたこと（出
場せず）や1936年に戸田藤一
郎氏と台湾出身の陳清水氏が日本
から初出場したエピソード、歴代
の日本の主な挑戦者の名前とともに
前週のオーガスタナショナル女

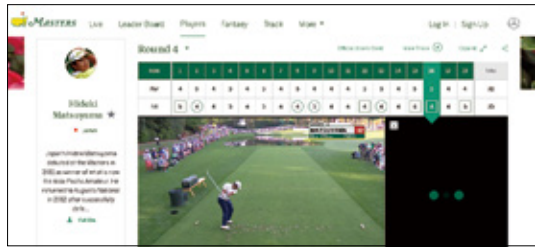
子アマで優勝した梶谷翼選手の名
前も伝えた。日本は昔から熱心な
ゴルフアーが多い国で、松山プロ
の優勝は母国全体の勝利でもある
と表現し、日本のゴルフ史をブー
スト（押し上げる）と称え、今年
夏に東京五輪を控えていることも
紹介している。

別の紹介記事では、ローアマを
獲得してマスターズに勝った選手
はキャリー・ミドルコフ、ジャック
・ニクラウス、ベン・クレンシ
ヨ、フィル・ミケルソン、タイ
ガー・ウッズ、セルヒオ・ガルシ
アに次いで7人目とも記している。
日本人初メジャーだけでなく、
アジア初のマスターズチャンプで
あり、名譽会員となつて生涯のマ
スターズ招待が約束されている。
マスターズに新たな日本の歴史を
刻んだ特別なマスターとなったの
だ。

また早藤将太キャディが最後に
ピンを戻した際にコースに一礼し
たシーンが世界中の話題を呼び、
マスターズのトップページも松山
プロと早藤キャディが並んだ姿と
なっている。

同サイトでは松山プロの全スト
ロークの映像や軌跡が収められ、

松山プロの全ストローク
の軌跡と映像が収録され
ている



再び余韻に
浸りたい方、
コースを研
究したい方
にもお勧め
だ。

またJGA
は4月20
日に梶谷翼
選手（兵庫
県の滝川第
二高校3年）
の帰国会見
を開いた。
梶谷選手は、
3月31日か
ら4月3日

まで、マスターズと同じ舞台で開
かれた第2回オーガスタナシヨナ
ル女子アマチュア選手権で日本人
として初めて優勝した。会見では
「今回の優勝で今後の選択肢が増
え、海外志向（留学など）が高ま
っている」と話した。またオーガ
スタナシヨナルは「きれいなコー
スで回っていて楽しかった」とし、
後進へのアドバイスとしては「と
にかく楽しむこと」、好きな選手
は「ローリー・マキロイ」、松山
プロの優勝を見て「自分が男子だ

ったら良いのに」などと話した。
ちなみにJGAでは、梶谷選手
の優勝直後に「快拳達成」とHP
でアナウンスし、竹田恆正会長と
ナシヨナルチームのガレス・ジョ
ーンズヘッドコーチの祝辞を載せ
ている。

梶谷選手は世界ジュニア選手権
で3度優勝し、13歳17日で日本女
子オーブンに出場した最年少記録
を持つなど天才ゴルフ少女として
も知られていた。

宮里藍、石川遼両プロの活躍が
ジュニアを増やしたように、日本
にも好サイクルが生まれている。

松山効果とゴルフ練習場の特需

話を日本のゴルフ界への影響に
戻すと松山選手優勝の余韻はまだ
まだ冷めず、優勝記念セールも相
当な盛況だったようだ。

（株）ゴルフダイジェスト・オンラ
イン（GDO）は、松山選手優勝
後の波及効果について、次のよう
に発表した。

同社によると、ミレニオナ時代の
レジャーとしての世界的なゴルフ
ブームの背景もあって、「アジア
で2000億円」と見積もる一部

の経済効果報道も出るなど、松山選手の波及効果への期待が大きくなっているとして同社の速報値調査を行ったという。

同社がサイト内で配信しているGDOニュースは、2000年から発信しているが、2019年大会でタイガー・ウッズが復活優勝を飾ったマスターズ報道で記録した飛びぬけた多くの週間トラフィック量を今回(4月6〜12日)はさらに上回り、閲覧した「ユーザー数」が152% (新規ユーザーの比較だと162%) を記録する大幅な増加があったという。

松山選手関連のゴルフ用品(中古品除く)については「GDOゴルフショップ」内の購買データで4月5〜11日と4月12〜18日を比較し、マスターズ週の各アイテムのPV(閲覧)および実売数は、いずれも前週を大幅に上回ったという。伸び率の比較では、PV数がドライバー(651%)、ボール(329%)、ポロシャツ(304%)の順だったのに対し、実売数はドライバー(414%)、パント(406%)、ボール(36%)の順であったとしている。

含め、同社のトラフィック量は、松山選手の歴史的な勝利から1週間以上経過した4月21日現在も好調に推移しており、直接か間接かに関わらず、いまま「効果」が続いていると分析している。

ところで、松山効果がブースト前の日本のゴルフ業界の現在地を確認すると、コロナ禍でゴルフが注目され、若者の参加が顕著で、昨年後半からゴルフ練習場が「特需」状況となっている。

月刊ゴルフレインジ5月号(4月25日発行)「ケージアール出版」は第3次ゴルフブーム時を上回る情勢にあると報じた。

同紙が今年2月に行った「第45回全国ゴルフ練習場経営調査」によると、全国のゴルフ練習場から300の回答があり、2021年の「景況感」を示すDI値は、昨年より38・2ポイント改善し83・6であったという。2020年実績の「来場者数」では、前年の30・5から41・3Pの大幅回復で71・8まで上昇、「売上高」も39・9P改善し65・6となり、3部門とも好景気の判断とされるプラス50を大きく上回り、30年ぶりに到来した「第4次ブーム」と評してい

い活況値を記録したという。

「景況感」は1989年の第3次ブーム期に記録したDI67・4を超えた最高値。状況的には悪天候のあった18年に対して、19年は好天が続き、渋野効果もあって若者、女性ゴルファーの増加も後押し。20年に入ってもその傾向は加速し、春からの緊急事態宣言で一旦は失速したかみえたが、練習場特性が幸いしV字回復、この勢いは21年も続いていると分析している。

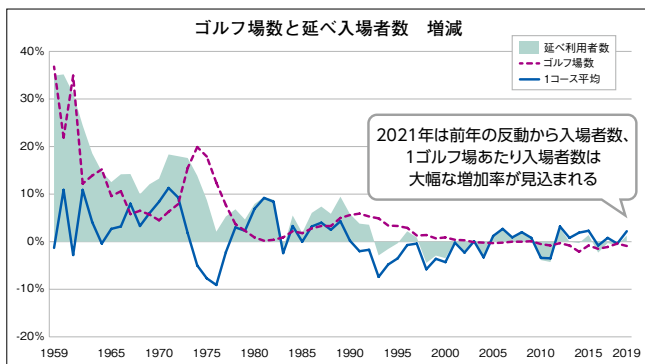
特に全国的にも最も厳しかった「売上」が「好景気」域に入ったことで三部門が揃い踏みしたと表現した。

過去のゴルフブームと現在

翻って、ゴルフ場業界で見ると若者増加による入場者増は伝わっているが、売上までは全国的に回復していない。

このためゴルフ界が本格的な第4次ゴルフブームに入るには、東京五輪などでの継続的な選手の活躍や、一時的なブームで終わらせない、ゴルフ界が必要をさらに喚起させる業界の変化が必要だろう。冒頭で掲載したグラフを増減率で振り返ると、第1次ゴルフブー

ムは昭和32(1957)年に霞ヶ関CCで開かれたカナダカップで日本チームが個人、団体優勝して起こったとされる。当時はゴルフ場の建設ブームが始まっていて、井上誠一氏、上田治氏などのコース設計者が数多く手がけ、今や名門コースと呼ばれるトーナメントコースも多く造られた。昭和40年代後半からの第2次ゴルフブーム時は、田中角栄氏の日本列島改造論が発表された時期で、日本全国



元のデータは一般社団法人日本ゴルフ場経営者協会

でゴルフ場の建設ラッシュが巻き起こり、ゴルフの大衆化が一举に進んだ。低額な会員権も販売されたが、ゴルフ場を計画した会社が倒産したり、会員権トラブルも表面化した時期だった。

1973年と79年のオイルショックで一時経済も混とんとした時期に重なった。その後の規制緩和やリゾート法施行などの影響で昭和60年前後からバブル経済が始まり、第3次ゴルフブームと言われた。第2次から3次にかけてはAONが長く活躍した時期で、ゴルフ場や入場者数も増え続けた。

その後のバブル崩壊と、低成長が長く続いた20年、30年が過ぎ、現在に至っている。

いまやゴルフ練習場が30年ぶりの活況期が到来しているなかで、果たして第4次と言われるゴルフブームに成長しているのか？

過去のゴルフブームではゴルフ場の建設やゴルフ会員権の高騰をもたらしたが、今回ばかりはその類の期待はできない。

それでもアメリカではコロナ禍で昨年、1997年マスターズでのタイカウツズ初優勝でゴルフ場ラウンド数が増えて以来のラウ

ンド数増加をみたように、日本のゴルフ場の入場者数は前年の反動もあって、2021年は記録的な増加となる可能性は高い。掲出したグラフに第4次の富士山が形成される形だ。

開催まで100日を切った東京五輪がコロナ禍で開催に懐疑的な意見がありつつも、こうした流れが続くのなら一時的なブームと言われる以上の波を期待したい。

もっとも、構造的には少子高齢化は変わらなく、コロナもワクチン接種が進むまで安心はできない。いずれにしても、ゴルフに対するマイナスイメージを払しょくするなど業界が念願とした課題解決をブーム期だから実績として残しておきたい。

JGAは今年4月1日に定款を変更し、ゴルフ振興の活動に本格的に力を入れていくこととしたが、松山選手のマスターズ優勝は、ゴルフ振興策としても最も有効な偉業であったの言うまでもない。それこそゴルフアー、ゴルフ業界が念願したマスターズ優勝であり、金額では例えられない、期待に満ちた追い風となっている。

おかげさまで
創業 55 周年
since 1966

本日のコンディション
グリーン
スピード 12.0 feet

創業 昭和41年 ゴルフ場サインメーカー
ヤマグチ工業